

社会教育委員 だより



▲ 4月29日 中尾歌舞伎春季定期公演 伊那市長谷「中尾座」

TOPIX

- 平成31年4月22日 第1回定例会（伊那市役所）を開催しました。
- 令和元年6月19日 長野県社会教育委員連絡協議会総会（長野県総合教育センター）に参加しました。
- 令和元年7月3日 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会（宮田村民会館）に参加しました。
- 令和元年8月21日 第2回臨時会（伊那市役所）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察2か所）
- 令和元年11月8日 上伊那社会教育関係者懇談会（伊那公民館）に参加しました。
- 令和元年11月28日 第3回臨時会、伊那市教育委員との懇談会（防災コミュニティセンター）を開催しました。（会議前、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察3か所）
- 令和2年1月24日 上伊那地区社会教育委員研修会（宮田村民会館）に参加しました。
- 令和2年3月19日 第4回定例会（防災コミュニティセンター）を開催しました。



平成 31 年 4 月 22 日、第 1 回会議(伊那市役所)を開催しました。

社会教育委員の 10 名です。

馬場 武志 会長 (伊那地区)
中村 幸子 副会長 (富県地区)
黒河内 あけみ 委員 (美篤地区)
宮原 晴美 委員 (手良地区)
高見 さゆり 委員 (東春近地区)
茅原 紘 委員 (西箕輪地区)
太田 伸 委員 (西春近地区)
寺田 利男 委員 (高遠町地区)
山崎 恭子 委員 (高遠町地区)
中山 恵理 委員 (長谷地区)

(任期：平成 30 年 4 月～令和 2 年 3 月まで)

実践活動の取組

社会教育委員による実践活動の取組を、6 つの柱に沿って進めています。

I 現場へ「足」を運ぶ

～机上の空論では意味がない～

II 日頃から「手」に汗を握る

～自分がやらずして、人には言えない～

III 市民から「顔」が見える

～存在と役割を知ってもらうために～

IV 些細な事でも聴く「耳」をもつ

～個を知ること、は、全容解明の第一歩～

V 深く掘り下げて見る「目」を持つ

～特色を捉え、生かし、発展させる～

VI 腹に納めず「口」に出す

～問われて答え、そうでなくても言う～

「足」を運ぶ活動 イベント等参加報告

生涯学習関係イベントへ参加して、感想や良かった点、問題点や課題等を報告書にまとめ、社会教育委員会議で発表し、委員間での意識共有を図っています。第 3 回の会議までに 110 件以上の参加報告がありました。

いくつかご紹介します。

○中尾歌舞伎 4 月定期公演

中尾歌舞伎は、しっかりとした後援会が出来て盛大に催されて良かったと思います。社会教育委員も練習や準備の段階から化粧、舞台、会場、受付、駐車場係に関わり、一緒に参加できて満足感が大きいものになりました。

小学生、中学生、高校生、若い人の公演の参加・協力に、大変な明るさと今後につながるものを感じます。

○イーナちゃんウォーキングカーニバル 2019

歩いてみなければ分からない東春近の地区、神社、自然などを知ることができてよいと思います。毎年いろいろな地区のウォーキングに参加している方もいて、コースや歩数を比べて楽しみ、励みになっていると思いました。



○第 25 回進徳館の日

「進徳館夏の学校の 10 年」の報告で「高遠^{まなび}の学」への熱い思いが溢れていました。論語の素読という高遠独自の取組は素晴らしいことです。

記念講演では信州諸藩の蔵書の比較を通して、高遠藩の傾向を解説され、進徳館での学習の内容が解明できていき興味深いものがありました。

剣道大会では、式においても多くの保護者などが正座している姿や。会場の入退場に際しても一礼する姿など礼を感じる雰囲気、試合も道を感じる大会でした。

○夏休み富県おいで塾

初日に館長さんから「時間を守る」「仲良くする」「挨拶をする」の 3 つの約束を守れることを全員で確認をして、班長・副班長を中心に学習や工作、おやつ作り、読書等で 5 日間を助け合いながら過ごしました。新山小学校の皆さんとも顔なじみとなり、地域を担う子供たちがお互いを知り、顔の見える交流が今後に生かされると期待します。毎日の終わりに初日に縫った雑巾で館内の清掃をして、清々しく一日を終えると共に明日に備える姿は大変気持ち良く感じました。



○地球の学校「発掘ざんまい！」

老松場古墳の発掘体験は、その時代の石と出会えてやっている感じがありました。石の横をそつと掘っていく子どもたちの目が輝いていました。最新の測定の機械と昔からやられている地味な測定も体験でき、比較することができました。

守屋山の化石の発掘も、子どもたちの観察眼の良さに毎回驚かされています。2つの発掘体験で子どもたちは生き活きと活動していました。

○地球の学校第5回スクーリング

入笠山周辺を目いっぱい歩き、生徒たちは満足げで、しかも今回は入笠山頂上では初雪を頂いた富士山が見られて興奮気味な生徒は記憶に残る一日になったことだろう。生徒が自ら申込みをして、スクーリングをし、何かを得ようとしているからには、サポートする側も彼らの人生の記憶に残る事柄としてその中身が大切で、内容を継続していただきたい。

○学校の森 子どもサミット・森JOY

「学校の森 子どもサミット」が子どものための集いだと思い参加しました。伊那西小学校の森散策よかったです。子どもたちが自然と親しむ姿が見られました。「子どもサミットのこれまで」いろいろな学校の取組の発表で、そんな森が近くにあったらいいな、子どもたちもののびのび活動できるだろうと羨ましかったです。子どもたちが自然と親しむ機会を作ってほしいのでこの活動を続けてほしいと思います。

○伊澤修二記念音楽祭

市内中学生（東部中学校・高遠中学校）と客席全員による「伊那市の歌」でオープンしました。今回驚いたことは、会場内のほぼ半数が暗譜で歌えていたことです。続く中学生の「大地讃頌」は、まっすぐな眼差し、まっすぐな声で場内に響き渡りました。



我がまちのいいとこ 10 選研修視察

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化など見てもらいたい場所を推薦し、現地へ視察に行っています。

見慣れた景色や建物が、解説を聞き、改めて伊那市の歴史や文化を感じ、学習する機会となっています。

○見通し桜

天竜川は、梅雨に入ると支流からの増水により川沿いの耕地は氾濫して甚大な被害を被ってきました。水害によって都度変化する川筋や流出する耕地の状況などを確認する測定の起点として、対岸の伯先桜と見通した桜として重要な役割を負ってきました。



（伊那市狐島）

○霞堤

南アルプス山麓から流れ出る三峰川は上流のダム建設によって、今は穏やかな表情を見せていますが、洪水時に決壊しないように「霞堤」があり「三峰川」を治める努力と工夫をされてきました。今もいくつかの「霞堤」が残っています。



（伊那市上新田）

○子安社

眼下に三峰川両側を見渡せる山の中腹にあり、神社の特徴は同じ覆い屋根の社殿に①妙義社②子安社③八幡社の3社が納められていて、西側隣には天満社も祀^{まつ}られています。周囲には芦沢マレットゴルフ場もあり、桜の時期には区民総出で楽しんでます。尼寺跡には34の石仏が並んで悠久の古刹の風情を感じることができます。



(伊那市美篤)

○トンボの楽園

新山山野草等保護育成会が草刈りなどの環境づくりの作業や保護活動を行い、夏から秋にかけてハッチョウトンボの他にも数多くのトンボが見られます。生息地の湿地帯では水生生物も見られ、観察会にも多くの人が訪れています。



(伊那市富県)

○溝口のカラカサ松

樹齢約400年と推定されるアカマツの古木で、唐傘のような形をしていることから、古くからこのように呼ばれてきました。根元には山の神が山作業の安全を願って祀^{まつ}られています。



(伊那市長谷)

○殿島城址公園

殿島城は天竜川左岸の段丘上に築かれ、高さ4m余りの大きな土塁に囲まれていて、現在は公園として整備されています。野外音楽祭が開催されるなど森の中で癒しと安らぎを与えてくれます。



(伊那市東春近)

○手良総合グラウンド・マレットゴルフ場

ソフトボールや野球を壮年から女性、少年野球と幅広い年齢が活動し、憩いの場となっています。

マレットゴルフ場の中には稲荷社があり、昔は開運、出世の神として参拝するものも多く「長者稲荷」とも呼ばれていました。



(伊那市手良)

任期満了に伴い委員さんからひとこと



馬場武志（伊那地区、会長）

－ 人と地域をつなぎ、モニター役を担って －

10 人の社会教育委員が、様々なイベントに出席して、手を出し口を出して、参加報告書で、内容を共有しながら広く発信してきた。今年度の重点事項は、次の二つである。

1. 歴史伝統文化の伝承
2. 学校・家庭・地域の連携強化

この基本構想に見合う、歌、食育、年中行事等の活動が各地で発表された。異年齢の参加者が協力し合って力一杯打ち込み、生きる力をつけている。歴史伝統文化の中尾歌舞伎は、関係者のご尽力によって、力強く復活してきた。社会教育委員も、スタッフとして参加できた意義は大きく、喜びがあった。基本構想のモニター役を担って、また「いいところ 10 選」で心に残る研修も出来た。教育長様を始め、生涯学習課の事務局の皆様、委員の皆様には、大変お世話になりご指導いただきました。感謝ばかりです。

中村幸子（富県地区、副会長）

社会教育委員を拝命し、3 期 6 年を終えようとしています。社会教育委員として関わらせていただきました、公民館主催の「夏休み子どもおいで塾」での児童の皆さんとの交流は、年々児童の皆さんとも顔なじみとなり充実した 5 日間を共に過ごさせて頂きました。又、小学校での学習支援やプールの授業やマラソン大会での沿道での見守り支援等、児童の皆さんとの関わりを多数持てましたことは、大変楽しく充実した時間となりました。

した。例年、各委員推薦の「我がまちいいところ 10 選」の視察では市内の文化財や伝統芸能等を学ぶ良い機会となっています。更に、郡・県の研修会等を通じ他市町村の社会教員の皆様の活動を学ばせて頂き、今後この学びを地域社会等へ多少なりとも還元できるよう、更に取り組んで参らなければならないと考えています。お世話になりました関係各位に心より御礼を申し上げます。

黒河内あけみ（美篤地区）

社会教育委員として、いろいろなイベントに参加し多くの人と出会うことができました。地域の公民館活動、地球の学校、宇宙の学校、中尾歌舞伎など、その活動の中で、多くの子どもたちと接し、楽しい経験をしました。また、中尾歌舞伎の活動のお手伝いで、伝統を守り受け継いでいくことの大変さを感じ、これからは私にできることは何か考え実践に移していきます。



宮原晴美（手良地区）

公民館運営協議会で開催して下さった「ふるさと講座」の 2 つに参加させてもらいました。

上牧の里山づくりの取組や、絶滅危惧種ミヤマシジミの保護活動についてのお話を聞かせてもらい、大変感銘を受けました。近くを何度通っても、知らないで通り過ぎていた里山の中で、こんなにすばらしい活動がなされていたことを知ることができました。そして、市をはじめ、様々な団体で取り組んでくださっていることをこのような講演会等を通し、多くの方に知ってもらうことも大事なことだと思いました。様々な取り組みに感謝しながら、委員の仕事を行っていきたいと思います。

高見さゆり（東春近地区）

日没後の東の山々は黒く沈んでいるが、その後方に聳^{そび}える南アルプスの連山はくっきりと山肌を見せ雪嶺に遊歩が映える。麓の高遠城址、長谷の中尾歌舞伎等々はその尊い歴史文化を今に伝承している。さらに、各委員が推薦する「わがまちいいところ 10 選」の視察を通し、伊那市の豊かな自然と文化を学ばせて頂いた。芦沢の子安杜、トンボの楽園、芋の田の横井戸等初めて足を運ぶところばかりだった。

また、公民館活動に携わり、地域の人と人を繋ぎ、共に学ぶお手伝いをさせていただいた。未来を担う子ども達の逞^{たくま}しい成長に触れられたことは嬉しい体験だった。

2年間、社会教育の一端に微力ながら関わらせていただきましたことを心から感謝申し上げます。



茅原紘（西箕輪地区）

社会教育委員の仕事の範囲が超広すぎるので、西箕輪地区の小中学校・公民館活動に限って述べたい。2年間で小学校の授業参観や運動会、中学校の学園祭等沢山の行事および公民館主催の親子での野外活動、更には成人式等を参観させて頂き、新しい時代の教育を創っておられる小中学校の校長先生教頭先生および公民館長先生を初め学校関係者を尊敬申し上げます。つまり、子供たち自身が未来社会の形成者となるよう主体性をもって生きていく力、多様な他者と協働して新たな価値を生み出す力を育てていくために、必要な資質・能力を主体的・対話的で深い学びによって実現する柔軟な発想がそここに感じ取れたように思われます。何と夢のある仕事ではないでしょうか！！



太田伸（西春近地区）

2年間の任期が終了するにあたり所感を添え、お世話になりました関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

何も解らないまま委嘱を受け、社会教育委員の取り組みの6つの柱①現場へ『足』を運ぶ、②日頃から『手』に汗を握る、③市民から『顔』が見える、④些細な事でも聴く『耳』を持つ、⑤深く掘り下げて見る『目』を持つ、⑥腹に納めず『口』に出す、に基づき自身の出来る範囲で実践しました。イベントに足を運びイベント報告書を作成、他市町村の社会教育委員との研修会、公民館運営審議会出席、地区2小学校、1中学校のコミュニティスクール運営支援委員会への出席、地域の出来事をイベント報告書へ情報提供、地域を学ぶという視点での『我がまちのいいところ 10 選』視察、等々実践しました。

市民に社会教育委員の存在が今ひとつ見えな中、名札を作成して頂き、名札を付けて行動することにより存在のアピールに努めました。

微力ではありましたが実践を通じての会議での発言が助言となれば幸いです。



寺田利男（高遠町地区）

4年間社会教育委員として、定例会・研修会・交流会などを通して、多くの市内外の皆さんから委員としてどうあるべきか学ぶことが沢山ありました。一方で、まだ多くの人が社会教育という学びの場でどの様に思い、何を求めているのか十分に把握していない私がいいます。2期の任期を終えるにあたり思い出深いことは、長谷の縁側での長谷中学生や地域の皆さんとの交流、中尾座の歌舞伎公演で僅かではありますが手伝いをさせて頂いたこと、そして、地域の皆さんが自慢とされている伊那のいいところを知ることが出来たことなどです。これらの活動が更に広がり、永く続くことを願っています。また私もその一助になればと思います。



山崎恭子（高遠町地区）

この2年間、自身の学びの場と捉え、又「井の中の蛙」とならぬよう心がけました。社会教育委員を名誉職と捉える向きもありますが、そうではなく行動する委員と考えます。生涯学習課の指針目標が示されており、私は「六つの柱」に沿い、我がまちのいいところ10選の活動を進めることができました。それは、上伊那研究会のグループ会議でも賞賛されることが多々ありました。

私自身は初心に戻り、個人として参加している他に、重点的に「古文書のある高遠町図書館」を発信しました。が、他地区委員さんの取り組みを地域に示せたかは心もとなく思い、反省です。今後も学び続ける姿勢を持ち行動していけたらと思います。ご指導頂きました生涯学習課、事務局にお礼申し上げます。

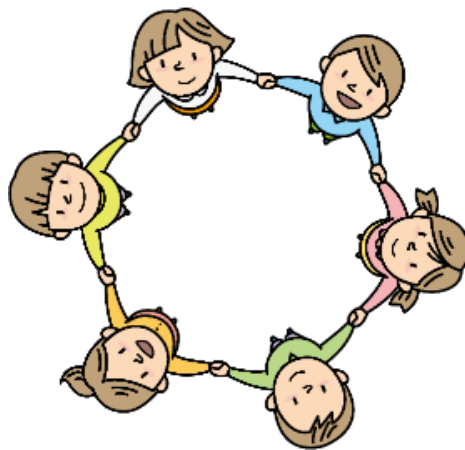


（11月28日教育委員との懇談）

中山恵理（長谷地区）

社会教育委員となって2年が過ぎようとしている。最初の1年目は会議や研修へ出席し、各種イベントに参加してレポートを書くだけで精一杯だった。2年目となり多少余裕は出たが具体的に何をやっていいのかは、まだよく分かっていない。ただ、社会教育委員となったおかげで地元の小中学校の卒業式や入学式、イベント等に参加することが出来、子供たちの顔が分かって触れ合うことが出来るのは嬉しいことである。社会教育関連の本によると「社会教育委員は行政と民間の間にあつて、住民の意向を行政に反映させるためのパイプ役」とある。果たして自分はそこまで出来ただろうか。否である。今後は少しでも地域社会の役に立てるよう努力したい。

2年間の任期、お疲れさまでした。





伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電話：0265-78-4111（内線 2725） F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらへ

